

子どもとともに一歩ずつ



息子は、他のお子さんのように表情や反応から気持ちを読み取るのが難しく、コミュニケーションがとれず、どうしてあげればよいのかわからないことに悩んでいました。息子が少しずつ身体を動かせるようになった時、伝えたいという気持ちが内面に育つことが必要であると学び、私は家庭での遊びや生活サイクルの中で取り組むことに奮闘しました。しかし結果はなかなか得られませんでした。心折れそうになったときに、心理士や機能訓練士に困っていることを相談できたのは救いでした。長く続けていくためには、無理なくできることを選ぶのがコツでした。焦らず、子どもの変化や成長を長い時間かけて見ていく心構えでいることが大切でした。

息子は大きな器のようなもので、水を溜めるのには時間がかかりますが、一步一步成長し、器からあふれ出す水を見ることができたときの喜びは何物にもかえられませんでした。

渋谷区で子育てをしてきたママ

倉本 雅代子

